

擁壁

ASUZAC

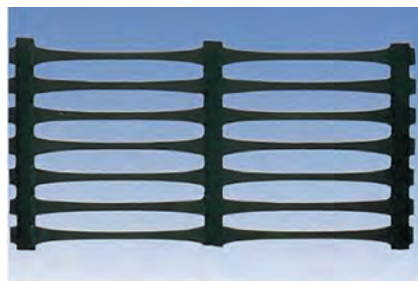
Contents

ポラメッシュ (垂直擁壁)	P.038	バイコン 基礎ブロック3・4・5 (省力化積みブロック関連パーツ)	P.073
しずか (ポーラスコンクリート大型ブロック)	P.046	バイコン 小口止めブロック (省力化積みブロック関連パーツ)	P.076
うらかたくん (大型ブロック積擁壁 専用裏型枠付)	P.050	テラセル擁壁工法	P.079
CKフォーム (かご式残存型枠擁壁)	P.056	箱型擁壁工法 (フリーウォール)	P.083
ヘキサゴン (レベル積み曲線安全施工ブロック)	P.062	テールアルメ工法	P.087
積みブロック	P.065	テンサー工法 (盛土・地盤補強用ジオグリッド)	P.091
クイックブロック (省力化積みブロック)	P.067	EPS工法 (発泡スチロール土木工法)	P.095
クイックブロック調整パネル (省力化積みブロック関連パーツ)	P.071		

センサー工法

一体成型成形により強固な交点をもつジオグリッドセンサーを盛土中に水平に全面敷設することで、土を強く拘束し、土構造物の安定化を図る工法です。

道路、鉄道、処分場、河川等の幅広い分野の急勾配な盛土建設に最適な工法です。



特長

1. 比較的広範囲な種類の盛土材が適用できることを特徴とし、排水対策を考慮し、現地発生土を有効に利用する事ができます。
2. 資材が軽量であり、大型重機が不要で、施工性も優れており、工費の軽減や工期の短縮を図ることができます。
3. のり面の緑化が可能のため自然景観にマッチしたのり面を形成できます。

補強盛土工法 ～センサー FWM 工法～

概要

溶接金網製軽量壁面材とジオグリッドセンサーを基本部材とした補強土壁工法です。壁面材はクリッパー等を使用して現場で自由に切断できるためコーナーやカーブ、縦断勾配にも対応できます。



特徴

- 壁面材が軽量で、大型重機が不要であるため施工性に優れています。
- 壁面材は、上下左右で連結された構造で、一体化した美しいのり面となります。
- 盛土の圧密沈下に対応した構造です。
- 上下壁面材がかみ合わせ構造で中間アンカーを用いることで、のり面近傍の転圧作業が簡単に行えます。(最上段部は中間アンカーを斜タイ材に使用)

施工断面例



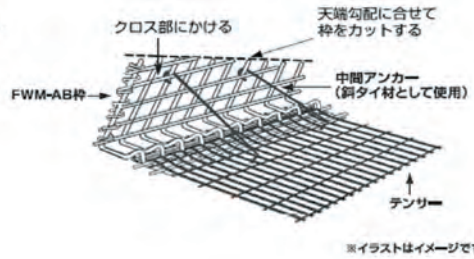
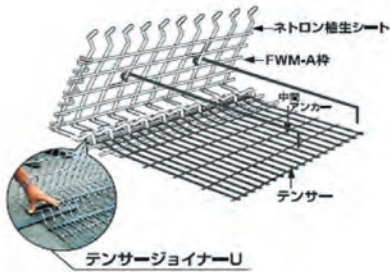
FWM種（壁面材）の種類と関連部材

1) FWM種本体及び関連部材

種類	高さ	仕上り勾配	運用	関連部材		表面処理
				部材	数量	
FWM-A種 (192.0m)	80cm	1～6分	標準部	テンサージョイナーU 連結コイル 中間アンカー ※斜材固定用アンカー4本(最上段部を除く別売)	2本 1本 5本	●溶融亜鉛めっき または ●ポリエチレン コーティング (FWM-Black)
FWM-AB種 (192.0m)	80cm	1～6分	最上段部	テンサージョイナーU 連結コイル 中間アンカー(斜タイ材として使用)	2本 1本 5本	

テンサーとの接続

部材取付図 (FWM-AB種による最上段部)



FWM工法の施工例

県道・市道改良工事

〈施工情報〉 ■施工場所/福岡県 ■高さ/H=7.7m(3層面) ■勾配/1:0.5



ボックスカルバート部掘り付けは直勾配



L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

カルバート

パイシロ付管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

貯留システム

石材

付録

地盤補強工法 ～基礎マットレス工法～

概要

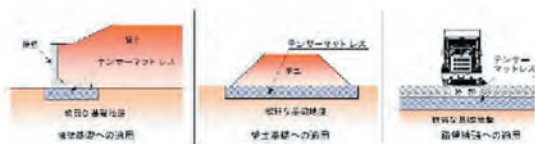
支持力が不足する基礎地盤または表層基礎部にセンサーと中詰材料を用いて立体的かつ盤状に組み立てた構造体(マットレス)を設置することにより、上載構造物の荷重およびせん断抵抗を発揮させることによって基礎地盤を補強する工法です。



特徴

- 上載荷重を分散させ基礎地盤支持力を向上します。
- 不同沈下を軽減できます。
- 地盤の側方流動、液状化被害抑制に有効です。
- 透水性の良好な地盤を形成します。
- 現地に合わせた設置が可能です。

施工断面例



施工手順



【基礎地盤整地】

【センサー・セパレート材敷設】

【中詰材搬出し・敷均し・締固め】

【上部重ね合わせ】